



新国立劇場

2012年1月

新国立劇場 開場15周年

2012/2013シーズン

BALLET DANCE

バレエ & ダンス



Contents

舞踊芸術監督 デヴィッド・ビントレー	2
2012/2013シーズン バレエ ラインアップ	5
シルヴィア 新制作	6
シンデレラ.....	8
ダイナミック ダンス! 新制作	9
コンチェルト・バロック/テイク・ファイヴ/イン・ジ・アッパー・ルーム	
ジゼル	11
ペンギン・カフェ (仮題) 新制作含む	12
シンフォニー・イン・C/E=mc ² /ペンギン・カフェ	
ドン・キホーテ	14
指揮者プロフィール	15
平成24年度公演	16
平成24年度 新国立劇場 こどものためのバレエ劇場	
シンデレラ.....	17
地域招聘公演	
貞松・浜田バレエ団.....	18
くるみ割り人形	
6DANCES/森優貴新作/DANCE	
2012/2013シーズン ダンス ラインアップ	20
森山開次「曼荼羅の宇宙」 新作	21
DANCE PLATFORM 2012 新制作	22
Aプログラム ユニット・キミホ「新作」	
Bプログラム 高谷史郎/ダムタイプ「明るい部屋」	
DANCE to the Future 2013 新制作	23
～新国立劇場バレエ団とのコラボレーション～	
平山素子による音楽3部作公演 (仮題) 新作 ..	24
アーティストプロフィール	25
公演一覧 (1997.10 ～ 2012.4)	27

2012/2013 シーズン バレエ・ダンス



舞踊芸術監督

Artistic Director (Ballet & Dance)

デヴィッド・ビントレー

David Bintley

2012/2013 シーズンは、1992年に私が振り付けたレオ・ドリーブ作曲の『シルヴィア』の日本初演で幕を開けます。本作は何かと日本に縁がある作品です。というのも著名な日本人バレリーナ吉田都と英国ロイヤル・バレエの次期芸術監督ケヴィン・オヘアに振り付けられ、さらに2007年に改訂を施した時も、日本人ダンサーの佐久間奈緒と、映画「小さな村の小さなダンサー」に主演した中国人ダンサーのツァオ・チーが踊っているからです。今回の『シルヴィア』の上演に、この2名のダンサーをゲストとして迎えることを大変光栄に思います。

チャイコフスキーが自作の『白鳥の湖』よりも優れていると称賛したドリーブの音楽は、あの有名なバレエ音楽『コッペリア』に比べると影が薄くなりがちですが、これまでにフレデリック・アシュトン、ジョン・ノイマイヤー、マーク・モリスといった多様な振付家にインスピレーションを与え続けてきました。

愛の神エロスによって結ばれる妖精シルヴィアと忠実な恋人アミンタの物語は、古代が舞台となっていますが、本改訂版では、斬新で現代的な設定になっており、シルヴィア、アミンタ、エロスのみならず、狩りの女神であるディアナ、森に住む悪者のオライオン、海賊、奴隷、そして狩りの妖精たちによる群舞も本作品の見どころとなります。

クリスマスには、皆様に愛されているデヴィッド・ウォーカーのデザインによる、フレデリック・アシュトン不朽の名作『シンデレラ』が再演されます。続く1月には、昨年3月の東日本大震災及び津波の影響で公演中止になった、バランシン、トワイラ・サープ、そして私の作品を含む「ダイナミック ダンス！」が中劇場に戻ってきます。3月の被災時にはリハーサルで素晴らしい仕上がりに達していたこのトリプル・ビルを、ついに観客の皆様にご披露できる日が来ると、心躍る思いです。本公演が、必ずや皆様の心を刺激するものになると確信しております。

新シーズンのダンス公演は、現在日本でトップクラスの振付家からまったくの新人による作品まで、多様な演目が並びます。「Dance to the Future2013」では、日本の新しい流れの中で最も敬愛されている二人の振付家、金森穰と中村恩恵をとりあげます。金森穰が『ZONE』より『Academic』を、中村恩恵が『The Well-Tempered』を新国立劇場バレエ団の出演により再演いたします。また新たに、中村恩恵振付による新作を発表する予定です。

6月には、高い評価を集めている平山素子の幅広い才能から作り出される作品を上演。この他にも、森山開次、キミホ・ハルバート、高谷史郎による個性豊かな振付作品が上演されます。

そして「全くの新人」とは？今シーズン初の試みで、新国立劇場バレエ団のダンサーが同団のダンサーに振り付けた新作を発表する場を設ける予定です。千里の道も一歩から！と、まずは始めの一歩を踏み出します。

バレエ公演の演目に戻りますが、毎シーズン恒例ともなっている古典作品は、クラシックバレエの巨匠マリウス・プティパによる2作品を上演します。プティパの改訂によるロマンティック・バレエの最高傑作『ジゼル』、そして6月の『ドン・キホーテ』と続きます。セルバンテスの小説を基に夢想家のスペインの騎士の物語をバレエにした『ドン・キホーテ』では、主人公キトリとバジルの結婚式の場面でバレエ史上もっとも有名なパ・ド・ドウの一つが踊られます。

シーズンを締めくくるこの作品の前に、本シーズン2本目となる小品で綴るミックス・プログラムを上演できることを大変嬉しく思っています。バランシンの素晴らしい『シンフォニー・イン・C』と、人気作品であるのと同時に、人々の心に訴えかける『ペンギン・カフェ』の再演、そして、私の振付作品で、今回が日本初演となる『E=mc²』の3作品になります。オーストラリアの作曲家、マシュー・ハインドソンが新しく書き下ろした刺激的な楽曲に、世界的に有名なアインシュタインの相対性理論を用いて繰り広げる本作品は、サウス・バンク・ショー・アワードを受賞し、バーミンガム、ロンドンでは大変な反響を呼びました。光、空間、エネルギーへと展開するドラマティックでエキサイティングな作品は、物理の専門知識がなくても、十分に理解できる作品となっています！

The 2012/2013 Season opens with the first performances in Japan of my 1992 production of Leo Delibes 'Sylvia'.

This production already has a Japanese connection as it was created for famous Japanese ballerina Miyako Yoshida and her partner Kevin O'Hare, the next Director of The Royal Ballet. This 2007 revision was made for another Japanese dancer Nao Sakuma and Chinese dancer and star of the film 'Mao's Last Dancer', Chi Cao. I am delighted that these two artists will be guesting with us during performances of 'Sylvia' this season.

Delibes' score was greatly admired by Tchaikovsky, who considered it superior to his own 'Swan Lake', and although it remains somewhat in the shadow of the composers more famous ballet, 'Coppelia', it has inspired choreographers as varied as Frederick Ashton, John Neumeier and Mark Morris.

The story of the Nymph, Sylvia, and her devoted admirer Aminta, who are brought together by Eros, the God of Love, derives from antiquity but is given a fresh and modern setting in this updated version. As well as Sylvia, Aminta and Eros, the ballet features Diana, Goddess of the Hunt, Orion, the black hearted woodsman and a huge cast of Pirates, Slave Girls and Huntresses.

Frederick Ashton's evergreen 'Cinderella' returns for the Christmas season in David Walker's much beloved production and is followed in the Playhouse in January by 'Dynamic Dance', the exciting programme of work by Balanchine, Twyla Tharp and myself which was cancelled last March as a result of the Great East Coast earthquake and Tsunami. I am very excited that this triple bill, which looked so good in rehearsal, is finally to be revealed to Tokyo audiences. I can assure them of a thrilling evening.

Dance Production this year is well represented by everything from the best of new Japanese contemporary choreographers to absolute beginners.

Kanamori Jo and Nakamura Megumi, two of the most respected and accomplished of Japan's new wave will be reviving for the National Ballet of Japan dancers the marvellous 'Academic' from 'ZONE', and 'The Well-Tempered', in our Dance to the Future programme. It is hoped that the programme will also include a new piece by Nakamura-San.

Much admired choreographer Hirayama Motoko enjoys a programme completely devoted to her wide ranging talents in June, as do the up and coming choreographic voices of Kimiho Hulbert, Shiro Takatani and Moriyama Kaiji.

And the 'Absolute Beginners'? The National ballet of Japan will host the first programme of new work created by the dancers for the dancers of the company. Every long journey begins with the first step!

Back to the ballet season; our annual celebration of the great classic choreographer Marius Petipa brings two of his ballets to the stage of the NNTT during this year, the first being his revision of that greatest of romantic ballets, 'Giselle'. This is followed in June by 'Don Quixote', Cervantes story of the great Spanish knight and dreamer translated into dance and featuring one of ballets most famous show stopping 'pas de deux', the wedding dance of Kitri and Basilio.

But before those closing performances I am very pleased to present our second programme of short ballets, Balanchine's great 'Symphony in C', the return of the popular and thought provoking 'Still Life' at the Penguin Café and the first Japanese performances of my ballet 'E=mc²'. Based on Einstein's world famous 'special theory of relativity' and danced to a thrilling new score by Australian composer Matthew Hindson, this award winning ballet was a big hit in Birmingham and London, and you don't need a degree in Physics to understand this exciting and dramatic exploration of light, space and energy!

〈プロフィール〉

英国ハダースフィールド生まれ。英国ロイヤルバレエ学校に入ったが、当時英国ロイヤルバレエでは、マーゴ・フォンティン、ルドルフ・ヌレフ、アンソニー・ダウエルなど世界的なダンサーが活躍していた黄金時代であり、フレデリック・アシュトンやケネス・マクミランが最高傑作を生み出す同時代に居合わせていた。1976年サドラーズ・ウェルズ・ロイヤル・バレエ（現バーミンガム・ロイヤルバレエ）に入団し、瞬く間に秀逸なキャラクター・ダンサーとしての頭角を現した。アシュトン振付の『ラ・フィユ・マル・ガルデ』のアランやシモーヌ、『真夏の夜の夢』のボトム、『シンデレラ』の意地悪な姉などを演じている。入団後2年も経ずにプロとしてサドラーズ・ウェルズ・バレエのために『異邦人』を振り付けた。この作品には既に人物への鋭い洞察、知的で刺激的な音楽の選択などビントレーの資質が現れていたが、ここではジョージ・バランシンなどのアメリカの影響とアシュトン、チューダー、マクミランなどのイギリスの伝統的系譜がともに見て取れる。82年に3ヶ月間アメリカとドイツのダンスシーンを視察、この経験は間違いなくビントレーのイメージネーションを拡げ、ビントレーが持っていたイギリス的アプローチの本質に確信を与えることになった。86年から93年の間、サドラーズ・ウェルズ・バレエや英国ロイヤルバレエの振付家として活躍。93年にフリーランスになった時には世界中の7カンパニーから新制作依頼が殺到した。ピーター・ライトを引き継いで95年からバーミンガム・ロイヤルバレエ芸術監督に就任。自身の作品以外にも、古典から現代委嘱作品まで非常に幅広いレパートリーを上演し、バーミンガム・ロイヤルバレエを世界レベルのカンパニーにまで飛躍的に発展させた。新国立劇場バレエ団では、『カルミナ・ブラーナ』『ガラントゥーリーズ』『ペンギン・カフェ』の上演、さらにバレエ団のために2008年『アラジン』、11年『パゴダの王子』を振り付け高い評価を得た。10年9月1日より新国立劇場舞踊芸術監督。

BALLET

| *Lineup* |

2012/2013 シーズン バレエラインアップ

〈新制作5作品／レパートリー 5作品 計6演目 32公演〉

2012.10～11

シルヴィア **新制作**

6回公演

2012.12

シンデレラ

7回公演

2013.1

ダイナミックダンス! **新制作**

コンチェルト・バロック／テイク・ファイヴ／イン・ジ・アッパー・ルーム

5回公演

2013.2

ジゼル

5回公演

2013.4～5

ペンギン・カフェ(仮題)

シンフォニー・イン・C $E=mc^2$ **新制作** / ペンギン・カフェ

5回公演

2013.6

ドン・キホーテ

4回公演

シルヴィア

2012.10/27 ~ 11/3

新制作
New Production

Sylvia

オペラパレス | 6回公演

●前売開始：2012年7月21日(土)

2012.10/27(土)2:00 28(日)2:00 31(水)7:00 11/1(木)2:00 2(金)7:00 3(土・祝)2:00

●料金 S：12,600円 A：10,500円 B：7,350円 C：4,200円 D：3,150円

2012/2013シーズンはビントレー芸術監督による全幕バレエを、開幕作品として新制作します。

恋愛を信じられなくなった若い恋人たちと長い結婚生活でお互いへの情熱を失ってしまった夫婦が、時空を超えた冒険を通して再び愛を見つけるロマンティック・コメディです。

オリジナルは19世紀のバレエ作品。『コッペリア』で知られるレオ・ドリーブが作曲した『シルヴィア』は、今も耳にすることの多い有名な「ピチカート」ほか、美しい楽曲がふんだんに盛り込まれているバレエです。これまでも多くの振付家が作品化を試みており、英国では1950年代のアシュトン振付による版が有名です。

ビントレーは1992年、まだ芸術監督に就任する前の英国バーミンガム・ロイヤル・バレエに『シルヴィア』を新たに振り付けました。当時同団に在籍していた吉田都に振付けられたシルヴィア役は、吉田都の比類ないテクニックがゆえに高度な技術を要する大役となりました。主演シルヴィア以外にも、女神ディアナや女神に仕えるニンフ(妖精)たちなど女性ダンサーが大いに活躍する作品です。2009年に本作の改定版が上演されたとき、シルヴィア役は日本人ダンサー佐久間奈緒が踊りました。

舞台装置・衣裳をスー・ブレイン、照明をマーク・ジョナサンが担当。二人は後に再びビントレーとともに、新国立劇場バレエ団の『アラジン』を制作することになります。

振付：デヴィッド・ビントレー

Choreography : David Bintley

音楽：レオ・ドリーブ

Music : Léo Delibes

美術：スー・ブレイン

Designs : Sue Blane

照明：マーク・ジョナサン

Lighting : Mark Jonathan

指揮：ポール・マーフィー

Conductor : Paul Murphy

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra : Tokyo Philharmonic Orchestra

ものがたり

ローマの遺跡に囲まれた庭園で、伯爵夫妻の結婚記念パーティーがおこなわれている。召使の若者と家庭教師の娘はお互いに想いをよせているが、愛の冷めた公爵夫妻の様子を見て、恋愛を信じることができなくなっている。庭園の年老いた庭師（じつは愛の神エロス）はそんな彼らを、時を超えて古代ローマ神話の世界へと運んでいく。

若者は羊飼いのアミンタとして、家庭教師の娘は女神ディアナに仕える美しいニンフのシルヴィアとして物語は始まる。

羊飼いのアミンタは狩りの女神ディアナの沐浴を偶然目にしてしまったためにディアナによって盲目にされる。一方、女神ディアナに仕えるニンフたちのひとり、シルヴィアは愛の神エロスの矢に射られて盲目のアミンタに恋をする。

美しいシルヴィアを見初めた森の住人オライオンによってシルヴィアは誘拐され、恋人たちは離ればなれになってしまう。しかし愛の神エロスの計らいで二人は再会。女神ディアナへの貞操の誓いを破ったシルヴィアは女神の怒りに触れて命を落しそうになるが、再び現れたエロスは彼らを現代に連れ戻す。

伯爵夫妻（古代ではディアナとオライオン）はお互いへの愛を確認しあい、若い二人も恋愛を信じる心を再び取り戻し、シェイクスピア「真夏の夜の夢」を思わせるようなハッピー・エンドを迎える。



Photos by Bill Cooper

シンデレラ

2012.12/15 ~ 24

レパートリー
Repertoire

Cinderella

オペラパレス | 7回公演

●前売開始：2012年9月15日(土)

2012.12/15(土)2:00 16(日)2:00 18(火)2:00 21(金)7:00 22(土)2:00 23(日)2:00 24(月・祝)2:00

●料金 S: 10,500円 A: 8,400円 B: 6,300円 C: 4,200円 D: 3,150円

『くるみ割り人形』とともに新国立劇場バレエ団のクリスマス定番演目として多くの観客に愛されている作品。アシュトン振付によるこの作品は、現在もシンデレラの「定番」として英国ロイヤル・バレエを始め、世界中の数多くのバレエ団によって上演されています。日本では唯一、新国立劇場バレエ団だけが持つ貴重なレパートリーです。

『ロメオとジュリエット』で知られるプロコフィエフが作曲した『シンデレラ』の音楽は、色鮮やかなメロディーとリズム感にあふれ、本作の大きな魅力の一つとなっています。豊かな四季を奏でる音楽とそれを踊る春夏秋冬の妖精たち、12時を打つ時計にシンデレラの魔法がとける瞬間の驚くような仕掛け、それに意地悪な姉妹が見せる愉快的なマイムの数々に彩られたシンデレラの物語は、誰をも幸せな気分に取りこむクリスマスシーズンに相応しいバレエ作品です。



振付: フレデリック・アシュトン

Choreography: Frederick Ashton

音楽: セルゲイ・プロコフィエフ

Music: Sergei Prokofiev

美術: デヴィッド・ウォーカー

Designs: David Walker

照明: 沢田祐二

Lighting: Sawada Yuji

指揮: エマニュエル・プラッソン

Conductor: Emmanuel Plasson

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra



ダイナミック ダンス!

2013.1/24 ~ 27

新制作
New Production

コンチェルト・バロッコ／テイク・ファイヴ／イン・ジ・アッパー・ルーム

Bintley's Choice Concerto Barocco / Take Five / In the Upper Room

中劇場 | 5回公演

●前売開始：2012年11月18日(日)

2013.1/24 (木) 7:00 25 (金) 7:00 26 (土) 2:00/7:00 27 (日) 2:00

●料金 S : 10,500円 A : 8,400円 B : 6,300円 C : 4,200円 D : 3,150円

未曾有の大災害となった東日本大震災のため公演中止を余儀なくされた「幻のトリプル・ビル(三作品)」が、いよいよ舞台上演されることになりました。本演目のリハーサル中に震災を体験したビントレーと新国立劇場バレエ団による、被災者への祈りと明日へのエネルギーを込めたプログラムです。

バランシンによる美しい『コンチェルト・バロッコ』、ビントレーがデイヴ・ブルーベック・カルテットの名曲に振り付けをした『テイク・ファイヴ』、そして、アメリカのバレエ／モダンダンス界を代表する振付家トワイラ・サープの最高傑作『イン・ジ・アッパー・ルーム』を上演します。バッハのヴァイオリン協奏曲から、ジャズ、そしてフィリップ・グラスのミニマル音楽まで、多彩な音楽に振り付けられたバレエをお楽しみいただけるトリプル・ビルです。

「コンチェルト・バロッコ」

振付：ジョージ・バランシン

音楽：ヨハン・セバスチャン・バッハ

指揮：大井剛史

Choreography : George Balanchine

Music : Johann Sebastian Bach

Conductor : Ooi Takeshi

バランシン1941年の作品で、バッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲二短調」に振り付けられています。楽曲構成がそのまま舞踊化されたかのよう、第一楽章では二人の女性がそれぞれのヴァイオリンパートを踊り、オーケストラにあたる女性アンサンブルとの対比を美しく見せます。第二楽章“Largo”における男女のパ・ド・ドゥに続いて、第三楽章“Allegro”では全ダンサーによって楽曲のシンコペーションのリズムが体现されます。新国立劇場バレエ団ならではの音楽的で緻密な表現が期待される上演です。



Photo by Andrew Ross

「テイク・ファイヴ」

振 付：デヴィッド・ Bintley

Choreography : David Bintley

音 楽：デイヴ・ブルーベック／ポール・デズモンド

Music : Dave Brubeck, Paul Desmond

美 術：ジャン＝マルク・ピュイッサン

Designs : Jean-Marc Puissant

おそらく誰もが耳にした事があるジャズの歴史的名曲「テイク・ファイヴ」をはじめとするデイヴ・ブルーベック・カルテットの名曲の数々。ブルーベックは、スィング感を損なうことなくジャズに変拍子を取り入れ、理論的な編曲を用いて新しいジャズの展開を切り拓いたジャズ界の巨人です。非常に音楽的な振付家として知られる Bintley は、ジャズ奏者でもあった父親に幼少期から数多くのジャズの名盤を聴かされて育ちました。そんな Bintley のジャズ音楽への理解がよく示された魅力あふれる作品です。ジャズ・カルテットの生演奏にのって踊るダンサーたちの見ごたえのあるテクニクをご堪能ください。



Photo by Bill Cooper

「イン・ジ・アッパー・ルーム」

振 付：トワイラ・サーブ

Choreography : Twyla Tharp

音 楽：フィリップ・グラス

Music : Philip Glass

衣 裳：ノーマ・カマリ

Costumes : Norma Kamali

照 明：ジェニファー・ティプトン

Lighting : Jennifer Tipton

世界の多くのカンパニーがレパートリーにとりいれている人気作品であり、かつサーブの代表作でもある本作がいよいよ新国立劇場バレエ団でも上演されることになりました。衣裳のノーマ・カマリと音楽のフィリップ・グラスとの顔合わせによる本作は、間違いなく戦後アメリカ芸術が迎えた一つの黄金期を示す作品と言えるでしょう。ダンサーの体力の限界を超えたところ（アッパー・ルーム）へと向かって踊られるダンスの迫力を、中劇場ならではの臨場感あふれる空間でご体験いただけます。



Photo by Bill Cooper

ジゼル

2013.2/17 ~ 24

レパートリー
Repertoire

Giselle

オペラパレス | 5回公演

●前売開始：2012年12月8日(土)

2013.2/17(日)2:00 20(水)7:00 22(金)7:00 23(土)2:00 24(日)2:00

●料金 S：10,500円 A：8,400円 B：6,300円 C：4,200円 D：3,150円

世界中のバレエ団で継承される19世紀ロマンティック・バレエ不朽の名作。新国立劇場バレエ団では創立の翌年となる1998年に、キーロフ・バレエのセルゲーエフ版を上演。以降、人気レパートリー作品として再演を重ねてきました。恋人アルベルトの裏切りを知って狂死したジゼルが、死後に妖精ウィリとなって恋人の前に現れる、後期ロマン主義の色濃い物語です。

恋人の裏切りを知ったジゼルが死に至るまでの錯乱の場面ほか、主役を演じる女性ダンサーには重力を感じさせないバレエ・テクニクと共にドラマチックな演技表現が求められます。また、このセルゲーエフ版ではアルベルト役をはじめ男性ソリストの高い技術力が試されるため、進境著しい新国立劇場バレエ団のダンサーたちによる上演が楽しみな演目です。



振付：ジャン・コラリ／ジュール・ペロー／マリウス・プティパ

Choreography : Jean Coralli, Jules Perrot, Marius Petipa

改訂振付：コンスタンチン・セルゲーエフ

Revised by Konstantin Sergeyev

音楽：アドルフ・アダン

Music : Adolphe Adam

美術：ヴァチェスラフ・オークネフ

Designs : Vyacheslav Okunev

照明：沢田祐二

Lighting : Sawada Yuji

指揮：未定

Conductor : TBA

管弦楽：東京交響楽団

Orchestra : Tokyo Symphony Orchestra



ペンギン・カフェ (仮題)

2013.4/28 ~ 5/4

レパートリー／新制作
Repertoire / New Production

シンフォニー・イン・C / $E=mc^2$ / ペンギン・カフェ

Symphony in C / $E=mc^2$ / 'Still Life' at the Penguin Café

オペラパレス | 5回公演

●前売開始：2013年2月16日(土)

2013.4/28 (日) 2:00 29 (月・祝) 2:00 5/2 (木) 7:00 3 (金) 2:00 4 (土) 2:00

●料金 S : 12,600円 A : 10,500円 B : 7,350円 C : 4,200円 D : 3,150円

ビントレーの最も有名な作品であり、芸術監督就任1年目の開幕作品として上演された『ペンギン・カフェ』を含むトリプル・ビル。ほかに、2010年に『ペンギン・カフェ』と同時上演され観客から高い評価を得たバランシンの『シンフォニー・イン・C』、また新国立劇場バレエ団では初めての上演となるビントレー近年の作品『 $E=mc^2$ 』が上演されます。

指揮：ポール・マーフィー

Conductor : Paul Murphy

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra : Tokyo Philharmonic Orchestra

「シンフォニー・イン・C」

振付：ジョージ・バランシン

Choreography : George Balanchine

音楽：ジョルジュ・ビゼー

Music : Georges Bizet

衣裳：大井昌子

Costumes : Ohi Masako

照明：磯野睦

Lighting : Isono Mutsumi

『カルメン』で知られるビゼーの交響曲第1番にバランシンが振付けたバレエ『水晶宮』は、パリ・オペラ座で初演された後、アメリカに戻ったバランシン自身の手で改訂され『シンフォニー・イン・C』のタイトルで発表されました。全部で4つの楽章には、それぞれに男女プリンシパル、2組のドゥミ・ソリスト、女性アンサンブルが振り分けられており、色彩豊かな音楽にあわせて次々と踊りが披露されていきます。第4楽章の終盤、速いテンポで進んでゆく心地よい高揚感のなかで総勢50名におよぶダンサーが一堂に踊る壮麗なフィナーレは圧巻です。



「 $E=mc^2$ 」(イー・イコール・エム・シー・スクウェアード)

振 付: デヴィッド・ Bintley

Choreography : David Bintley

音 楽: マシュー・ハインドソン

Music : Matthew Hindson

美 術: ケイト・フォード

Designs : Kate Ford

照 明: ピーター・マンフォード

Lighting : Peter Mumford

『 $E=mc^2$ 』は2009年に発表され、英国のサウス・バンク・ショー・アワードを受賞したほか、権威あるローレンス・オリヴィエ賞にもノミネートされた作品。アインシュタインの方程式を、同名のデヴィッド・ボダニスによる著作『 $E=mc^2$ 』をもとにバレエ作品化。作品テーマの選択や使用される音楽・舞踊言語など、Bintley自身が振付家として新境地を切り拓いた意欲的な作品で、オーストラリア出身の作曲家マシュー・ハインドソンに委嘱された力強い音楽とともにダンサーのエネルギーが舞台上で弾けます。

作品は方程式そのままに「E (=Energy エネルギー)、M (=Mass 質量)、C (=Celeritas 光速度)」から成る3つの部分 (Movement) に分かれ、それぞれがダンスで表現されます。また途中導入される「Manhattan Project (マンハッタン計画)」と呼ばれるセクションでは、このエネルギーの放出が原爆という形をとって人類の歴史に現れた負の側面も併せて見せます。

「ペンギン・カフェ」

振 付: デヴィッド・ Bintley

Choreography : David Bintley

音 楽: サイモン・ジェフス

Music : Simon Jeffes

美 術: ヘイデン・グリフィン

Designs : Hayden Griffin

照 明: ジョン・B・リード

Lighting : John B. Read

Bintleyの代表作のひとつであり、最も有名な作品。80年代に一大センセーションを巻き起こしたワールド・ミュージック・アンサンブル「ペンギン・カフェ・オーケストラ」の音楽を使用したバレエ作品として発表されました。絶滅の危機に瀕した動物と人間たちが、地球上から姿を消したペンギンの祖先「グレート・オーク」とともに、それぞれのダンスを繰り広げます。可愛らしい動物の仮面を被って踊るダンサー、ポップで心地よい音楽で上演される作品の根底には、痛烈な文明批判と現代の環境問題にも通じるメッセージが含まれています。



ドン・キホーテ

2013.6/22 ~ 30

レパートリー
Repertoire

Don Quixote

オペラパレス | 4回公演

●前売開始：2013年4月13日(土)

2013.6/22 (土) 2:00 23 (日) 2:00 29 (土) 2:00 30 (日) 2:00

●料金 S : 10,500円 A : 8,400円 B : 6,300円 C : 4,200円 D : 3,150円

セルバンテス「ドン・キホーテ」のエピソードを原作にした、楽しさと活気にあふれた古典バレエです。床屋のバジルと町娘キトリの恋物語が、様々なエピソードと踊りに彩られて、陽気に賑わうバルセロナの町に繰り広げられます。

闘牛士や町の女たちによるスペイン舞踊、風車のエピソード、ドン・キホーテの夢の中で繰り広げられる美しい群舞、そして最終幕の恋人たちによるグラン・パ・ド・ドゥまで、古典バレエの美しさとヴァリエティに富んだ陽気で楽しい踊りの数々を堪能できる人気演目です。

世界的な経済不況は芸術界にも大きな影を落とし、多くのバレエ団が新作の上演を見合わせるような状況が続いています。しかしこの庶民的で力強さに溢れる本作の上演では、充実した陣容を誇る新国立劇場バレエ団のソリスト達と定評ある美しいコール・ド・バレエによる、古典レパートリーならではの充実した舞台をお見せいたします。

振付：マリウス・プティパ／アレクサンドル・ゴルスキー

改訂振付：アレクセイ・ファジェーチェフ

音楽：レオン・ミンクス

美術：ヴァчесラフ・オークネフ

照明：梶 孝三

指揮：未定

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Choreography : Marius Petipa, Alexandr Gorsky

Revised by Alexei Fadechev

Music : Léon Minkus

Designs : Vyacheslav Okunev

Lighting : Kaji Kozo

Conductor : TBA

Orchestra : Tokyo Philharmonic Orchestra



ポール・マーフィー

Paul Murphy

英国バーミンガム・ロイヤルバレエと同バレエ団のオーケストラ、ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席指揮者。

1994年以来、ロンドンの英国ロイヤル・バレエで定期的にゲスト指揮者として迎えられており、ロイヤル・オペラ・ハウス管弦楽団と定期的に仕事をしています。その他、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ハレ管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBCナショナル・ウェールズ管弦楽団、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、BBCコンサート・オーケストラ、オペラ・ノース管弦楽団、バーミンガム市交響楽団等、英国の優れたオーケストラを多数指揮している。また、ニューヨーク・シティ・バレエ、ライン・バレエ、ロイヤル・フランダース・バレエ、オランダ国立バレエ、最近ではオーストラリア・バレエのゲスト指揮者を務めている。これまでにハレ管弦楽団（サン・サーンスのピアノと管弦楽曲全曲）、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との録音がある。

97年、英国王立音楽院のアソシエイトに選ばれた。

新国立劇場では、2008年および11年『アラジン』、10年『カルミナ・ブラーナ』『ガラン・トゥーリーズ』、『火の鳥』『シンフォニー・イン・C』『ペンギン・カフェ』、11年『パゴダの王子』を指揮している。



エマニュエル・プラッソン

Emmanuel Plasson



有名なフランス人指揮者ミシェル・プラッソンを父に持ち、米メイン州のピエールモントウ音楽学校、さらにイエール大学で指揮法を学ぶ。

1994年ロンドンのドナテッラ・フリック指揮コンクールで優勝。これが英国でのデビューとなり、その後BBCフィルハーモニック、BBCウェールズ交響楽団、ロイヤル・スコティッシュ管弦楽団、アルスター管弦楽団、ノーザン・シンフォニア、英ロイヤル・バレエで指揮。97年の英ロイヤル・バレエのメトロポリタン歌劇場公演の後、それに続く2シーズンを同歌劇場の副指揮者として招かれる。2002年には英国オペラ・ノースにも初登場している。同年オペラ・オーストラリアにデビュー。その後シドニー・オペラハウス、メルボルン・オペラ、豪州の数々のオーケストラに招かれる。

ハンブルグ州立歌劇場で06年にドニゼッティ『連隊の娘』の新プロダクション、07年には『ホフマン物語』の新制作を指揮し好評を得る。

近年では、オペラ・オーストラリアでマスネ『ウェルテル』、仏トゥールーズ・キャピトル劇場でニコラス・ジョエルによるグノー『ファウスト』の新プロダクション、ニューヨーク・シティ・オペラでシャブリエのオペラ『星』を指揮し、批評家から好評を得ている。

現在、交響曲とオペラの領域で、フランス音楽の指揮者として国際的に輝かしい実績を築いている。新国立劇場バレエ団公演には06年『シンデレラ』で初登場した。

大井剛史

Ooi Takeshi

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、99年に同大学院指揮専攻を修了。故若杉弘、故岩城宏之の各氏に指導を受ける。

96年安宅賞を受賞した。その後、スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブチェフスキーの各氏に指導を受ける。

2000年～01年、仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者。東京フィル、群馬交響楽団、名古屋フィル、九州交響楽団など国内各地のオーケストラを指揮。

02年、モーツァルト劇場公演『ペレアスとメリザンド』（ドビュッシー）でオペラ指揮者として本格的にデビュー。06年まで同劇場の指揮を務める。オペラ以外の舞台音楽でも、04年にミュージカル『ウェスト・サイド・ストーリー』（バーンスタイン）を指揮。

07年～09年3月までチェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。08年アントニオ・ベドロッティ国際指揮者コンクールで第2位入賞。

09年にニューフィルハーモニーオーケストラ千葉常任指揮者および山形交響楽団指揮者に就任した。現在、聖徳大学音楽学部兼任講師。

新国立劇場バレエ団では08年『カルメン』で初めて指揮をする。その後、『くるみ割り人形』、10年カーター『グラン・パド・フィアンセ』、プティ『こうもり（グラン・カフェ）』、11年マクミラン『ロメオとジュリエット』『バレエ・オープニング・ガラ』ほかを指揮している。



｜ 平成24年度公演 ｜

〈2演目8公演〉

2012.7

平成24年度

新国立劇場 こどものためのバレエ劇場

シンデレラ

6回公演

2013.1

平成24年度

新国立劇場 地域招聘公演

貞松・浜田バレエ団

くるみ割り人形

6DANCES／森優貴新作／DANCE

2回公演

シンデレラ

Cinderella

中劇場 | 6回公演

●料金 こども(4歳から小学6年生):2,100円 大人(中学生以上):3,150円

新国立劇場では、次世代を担うこどもたちが優れたバレエ芸術に親子で触れられる機会を提供する目的で、2009年より「新国立劇場 こどものためのバレエ劇場」を実施、同年とそれに続く2010年に新作バレエ『しらゆき姫』を上演しました。10年の夏休み期間には全国7都市をツアーし、公演とともに各地でおこなわれた団員による子供向けのワークショップともども好評をいただきました。

今回新国立劇場バレエ団では本企画の第2弾として『シンデレラ』を上演します。『しらゆき姫』に引き続き、牧阿佐美監修のもと小倉佐知子が振付をおこないます。プロコフィエフがこの物語のために作曲した有名な全幕バレエ曲が音楽で使用されています。

子供にとって身近な原作をもとに、わかりやすい語り口でつくられる「こどものためのバレエ劇場」は、同時に本格的なクラシカルバレエとして振り付けられており、新国立劇場バレエ団のソリストによって踊られる主役をはじめ、お子様連れの大人の方にも十分見ごたえのある作品として仕上げられています。大人は大人の楽しみ方が、子どもには子どもの楽しみ方が味わえる、幅広い年齢層にご覧いただける演目です。

お子様の“バレエ観劇デビュー”を考えながらも、全幕のバレエを観るには少し早いと感じていらっしゃる低年齢層のお子様をお持ちのご家庭に格好の公演です。また東京公演の後には、全国公演も予定しています。

監 修: 牧 阿佐美

Artistic Adviser: Maki Asami

振 付: 小倉佐知子

Choreography: Ogura Sachiko

音 楽: セルゲイ・プロコフィエフ

Music: Sergei Prokofiev

美 術: 川口直次

Scenery: Kawaguchi Naoji

照 明: 八木麻紀

Lighting: Yagi Maki

〈全国公演予定〉

柏崎市文化会館アルフォーレ、サンポートホール高松、茅ヶ崎市民文化会館、兵庫県立芸術文化センター ほか

貞松・浜田バレエ団

くるみ割り人形

6DANCES／森優貴新作／DANCE

Sadamatsu-Hamada Ballet: The Nutcracker / 6Dances / New Work by Mori Yuki / Dance

中劇場 | 2回公演

新国立劇場の2013年地域招聘公演では、1965年の結成以来、神戸を拠点にクラシック作品と意欲的な創作作品を発表し続けている貞松・浜田バレエ団を招聘します。

同団の古典作品のレパートリーと並んで高い評価を得ているのが、2011年に23回目を迎えた同団のシリーズ〈創作リサイタル〉です。今回の新国立劇場による地域招聘公演では、クラシック作品『くるみ割り人形』とともに、過去の〈創作リサイタル〉公演で発表された代表作のイリ・キリアン振付『6DANCES』、オハッド・ナハリン振付『DANCE』、さらに森優貴振付の新作によるトリプルビルの2プログラムが予定されています。

「くるみ割り人形」(全幕新ヴァージョン お伽の国)

振付：マリウス・プティパ／レフ・イワノフ Choreography : Marius Petipa, Lev Ivanov

演出：貞松 融／浜田 蓉子 Production : Sadamatsu Toru, Hamada Yoko

改訂振付：貞松正一郎／長尾良子 Revised by Sadamatsu Shoichiro, Nagao Yoshiko

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー Music : Pyotr Iryich Tchaikovsky

「6DANCES」

振付：イリ・キリアン Choreography : Jiří Kylián

音楽：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト Music : Wolfgang Amadeus Mozart

「新作」

振付：森 優貴 Choreography : Mori Yuki

「DANCE」

振付：オハッド・ナハリン Choreography : Ohad Naharin

音楽：チャチャ、マンボ、イスラエルの伝統音楽 Music : Cha-Cha, Mambo, Traditional Israeli music

DANCE

| *Lineup* |

2012/2013 シーズン ダンスラインアップ

〈計4演目〉

2012.10

森山開次「曼荼羅の宇宙」

5回公演

2012.11 ~ 12

DANCE PLATFORM 2012

Aプログラム ユニット・キミホ「新作」

Bプログラム 高谷史郎 / ダムタイプ「明るい部屋」

7回公演

2013.3

DANCE to the Future 2013

～新国立劇場バレエ団とのコラボレーション～

2回公演

2013.6

平山素子による音楽3部作公演 (仮題)

3回公演

2012.10/17 ~ 21

森山開次「曼荼羅の宇宙」

新作
New Piece

The Universe of Mandara by Moriyama Kaiji

小劇場 | 5回公演

●前売開始：2012年7月28日(土)

2012.10/17(水)7:00 18(木)7:00 19(金)7:00 20(土)3:00 21(日)3:00

●料金 A：5,250円 B：3,150円

2012/2013シーズンのダンス公演は、森山開次による新作で開幕します。

今回森山は、東京国立博物館における京都東寺の立体曼陀羅の展示で注目を集めた、弘法大師空海と密教の宇宙観をテーマにした舞踊作品を発表します。

森山は2011年NHK BSプレミアムにて放送された「空海 ～至宝と人生」第三集：曼荼羅の宇宙のナビゲーターを務め、そこで両界曼荼羅図から得たインスピレーションを元にソロ舞踊を披露しました。今回の上演では、そこで披露されたソロ作品をさらに深く掘り下げていきます。

森山によるソロ作品以外に、平安時代の三筆の一人とされ、優れた書家であった空海の「書」をモチーフにした作品も併せて発表されます。

本作は、多様化するダンスシーンの中であって、他に類を見ない世界観と表現でユニークな作品空間を創造する森山が、空海と密教の世界観を通して新たに探求する身体の世界です。

演出・振付：森山開次

Direction / Choreography : Moriyama Kaiji

出演：森山開次 ほか

Dance : Moriyama Kaiji

2012.11/29 ~ 12/9

DANCE PLATFORM 2012

新制作
New Production

Aプログラム ユニット・キミホ「新作」 Bプログラム 高谷史郎／ダムタイプ「明るい部屋」

小劇場 | 7回公演

●前売開始：2012年9月9日(日)

Aプログラム 2012.11/29(木)7:00 30(金)7:00 12/1(土)3:00

Bプログラム 2012.12/7(金)7:00 8(土)2:00/6:00 9(日)3:00

●料金 A：5,250円 B：3,150円

新国立劇場ダンス公演に初めて登場するダンスカンパニーを紹介する「DANCE PLATFORM」。2012/2013シーズンでは、2作品を取り上げます。

〈Aプログラム〉

ユニット・キミホ「新作」

New Work by Unit Kimiho

ユニット・キミホは、2001年にダンサー、振付家として活動するキミホ・ハルバートを中心に結成されたダンス・グループです。これまでに定期的に質の高いコンテンポラリーダンス作品を発表してきました。ハルバートはフリーランスの振付家として、バレエ、ダンスのみならずオペラや演劇等の舞台、映画等でも幅広い活動を行っており、バレエダンサーとして新国立劇場バレエ団にも在籍しました。2011年にはドビュッシーの音楽を用いた作品『Almond Blossoms』を新国立劇場バレエ団に振り付けています。

演出・振付：キミホ・ハルバート

Direction / Choreography : Kimiho Hulbert

出演：ユニット・キミホ

Dance : Unit Kimiho

〈Bプログラム〉

高谷史郎／ダムタイプ「明るい部屋」

Takatani Shiro / Dumb Type LA CHAMBRE CLAIRE

高谷史郎は1980年代に結成され、建築、ダンス、音楽、映像、美術、デザインといった様々なメディアのアーティスト集合体として芸術界に新しい衝撃を与えた「ダムタイプ」創立メンバーの一人です。高谷が2008年に発表した初のソロ監督作品『明るい部屋』は同名のロラン・バルトによる写真論へのオマージュでもあり、風景を手元の紙の上に映し出すために画家が用いた光学装置カメラ・ルシダも併せて意味します。

バルトが示唆した「かつて存在したもの」(そしてその「死」)を突きつける「写真」というものの存在、それが人に強いる「記憶」に関する重層的なイメージが、作品をご覧になる観客それぞれを内的空間と自己の記憶への旅へと誘うことでしょう。



「明るい部屋 Falk Wenzel」 Photo by Falk Wenzel

演出：高谷史郎

Direction : Takatani Shiro

照明：大内聖子

Lighting Design : Ouchi Seiko

音響：南 琢也

Sound : Minami Takuya

映像技術：栗津一郎／山田晋平

Video Technicians : Awazu Ichiro, Yamada Shimpei

コンピュータ・プログラム：古舘 健

Computer programs : Furudate Ken

出演：薮内美佐子／平井優子／オリビエ・バルザリーニ／前田英一／泊 博雅

Dancers : Yabuuchi Misako, Hirai Yuko, Olivier Balzarini, Maeda Hidekazu, Tomari Hiromasa

DANCE to the Future 2013

新制作
New Production

金森 穰振付「Academic」／ 中村恩恵振付「The Well-Tempered」

中劇場 | 2回公演

●前売開始：2013年1月27日(日)

2013.3/26 (火) 7:00 27 (水) 7:00

●料金 S：6,300円 A：5,250円 B：4,200円 C：3,150円

新国立劇場バレエ団と現代舞踊を融合させる、新国立劇場ならではの公演企画。4回目を迎える今回はネザールランド・ダンス・シアターなど、ヨーロッパのカンパニーでダンサーとして活躍した後、日本で活発な創作活動をおこなっている金森穰と中村恩恵による作品を上演します。

金森は2011年「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」では、バルトークの『青ひげ公の城』『中国の不思議な役人』の演出振付を手がけて話題を呼びました。また過去二度にわたって新国立劇場バレエ団の委嘱で作品を振り付けています。中村は2011/2012新国立劇場ダンスシーズンの開幕作品として首藤康之とともに、シェイクスピア「ソネット集」を舞踊化し、その卓越した作品構成力と舞台表現が観客からも批評家からも高い評価を受けました。

「Academic」(「ZONE ～陽炎 稲妻 水の月」より)

2009年の金森穰作品『ZONE ～陽炎 稲妻 水の月』は、新国立劇場とりゅうとぴあ新潟市民芸術文化会館との共同制作で金森が芸術監督を務める Noism によって発表されました。今回上演される『Academic』は3部構成をとる「ZONE = 舞踊芸術の専門家がその専門的活動の中で養う精神的領域」の第1部として上演されました。「古典／制御されたからだ／記号化できる動き／緊張感のあるからだ」に焦点をあてて振り付けられた『Academic』は、クラシックバレエの様式を Noism として専門的に表現する領域と、金森は初演プログラムノートで定義しています。

振付：金森 穰

Choreography : Kanamori Jo

音楽：ヨハン・セバスチャン・バッハ

Music : Johann Sebastian Bach (「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ」より)

「The Well-Tempered」

『The Well-Tempered』は2008年に初演。その後09年に改訂され、第3部のパ・ド・ドゥが中村恩恵と首藤康之によって踊られました。中村は音楽における「純正調」と近代和声の要求する多様な調性との関係を、個人と社会という人間関係に置き変えます。

社会(多様な調性)の中で個人(一つの調)の純粹を保とうとしたときに、人はどのようにその矛盾に向かい合うのか。中村はその矛盾を克服する鍵を、かつて様々な調性に対応ができるよう音楽理論家たちが考案した「Well Tempered」な音律に見出します。人と人の関係における「Well Tempered」とは何を意味するのでしょうか。作品は、純正律を志向した作曲家ペルトによる音楽で幕を開け、そして最後のパ・ド・ドゥではバッハのカンタータが用いられています。

振付：中村恩恵

Choreography : Nakamura Megumi

音楽：第一部 アルヴォ・ペルト

Music : Arvo Pärt

第二部 スティーヴ・ライヒ

Steve Reich

第三部 ヨハン・セバスチャン・バッハ

Johann Sebastian Bach

2013.6/7 ~ 9

平山素子による音楽3部作公演 新作 New Piece (仮題)

New Works by Hirayama Motoko

中劇場 | 3回公演

●前売開始：2013年3月23日(土)

2013.6/7 (金) 7:00 8 (土) 3:00 9 (日) 3:00

●料金 A : 5,250円 B : 3,150円

平山素子は、これまでも新国立劇場ダンス公演の代表作となる作品を数々発表してきました。特にストラヴィンスキーのバレエ音楽に振付けられた『春の祭典』『兵士の物語』を一挙に上演した2010年の公演「ストラヴィンスキー・イブニング」は、観客の支持と評価を平山が確立したプログラムとなりました。2012年4月には、委嘱新作を含む新国立劇場バレエ団による平山素子作品集が上演されることになっており、平山素子への注目はさらに高まっています。

本公演では、ラベル、ドビュッシー、そして印象主義に影響を与えたサティの三人の作曲家をとりあげ、印象主義音楽による三部作を上演します。

演出・振付：平山素子

Direction / Choreography : Hirayama Motoko

出演：平山素子 ほか

Dance : Hirayama Motoko

森山開次

Moriyama Kaiji

2001年エジンバラフェスティバルにて「今年最も才能あるダンサーの1人。彼1人のために観にいく価値あり」(英・Scotsman誌)と評され、同年ソロ作品の発表を開始。初ソロ公演「夕鶴」以降、和の素材を用いた独自の表現世界で知られ、能を題材とした03年『弱法師』、04年『OKINA』(ともに新国立劇場)で「森山開次が切り拓く地平」「公演の白眉」等と高く評価される。05年『KATANA』にて「驚異のダンサー」と評され、07年ヴェネチアビエンナーレ招聘。09年能をモチーフとしたトリプル・ビルを新国立劇場およびバリ・ローマにて発表。以降、ベトナム・トルコ・アメリカ・ロシア等で海外公演。10年には活動10年目の節目として初ソロ作品を『TSUBASA』として新演出で再演。全国5都市で公演を行い、観客の熱い支持を得た。

ダンス公演のみならず、演劇・映画・テレビ・写真作品への参加、絵画・映像作品の制作など幅広い媒体での表現活動に積極的に参加する一方、09年日本ユニセフ協会『世界手洗いダンス』振付。ダンスを通じた乳幼児の病気予防の推進役として、11年は宮城県南三陸町ほか各地で指導にあたっている。



Photo by 石塚定人



Photo by 増田雄介

キミホ・ハルバート

Kimiho Hulbert

岸辺光代のもとでバレエを始め、ベルギー・アントワープバレエ学校を経て、1994年米国・コロラドバレエ団入団。2年後に帰国し、新国立劇場バレエ団にて開場記念公演より2009年までダンサーとして活躍する一方、振付家としての活動を開始。

01年自身で振付・演出を手がけ、ダンサーとしても参加する「UNIT KIMIHO」結成。カンパニー活動の他、日本バレエ協会、NBAバレエ団、東京シティ・バレエ団、新国立劇場バレエ研修所、青山劇場公演等で作品を上演。堤幸彦監督映画『溺れる魚』、劇団昴『夏の夜の夢』、新国立劇場オペラ『軍人たち』などの振付を手がけた。海外では韓国、ベルギーなどにも招待され作品を発表している。また、若いダンサーの育成にも力を入れ、様々なスタジオにてコンテンポラリークラスやワークショップを行うほか、ローザンヌ国際バレエコンクール・ファイナリストのコンテンポラリー作品の振付を担当している。

07年世田谷パブリックシアターにてUNIT KIMIHO 第1回自主公演「GARDEN OF VISIONS」を開催。オン★ステージ新聞アンケートによる新人振付家ベスト1に選出される。09年青山円形劇場にて第2回公演「White Fields」を開催。10年トヨタ コレオグラフィーアワード2010「オーディエンス賞」受賞、青山劇場での「ローザンヌ・ガラ」オープニング作品振付、オランダ国立歌劇場『兵士たち』振付・出演。11年には新国立劇場バレエ団に新作『Almond Blossoms』を振り付け、好評を得た。

高谷史郎

Takatani Shiro

京都市立芸術大学美術学部環境デザイン科卒。1984年アーティストグループ「ダムタイプ」の創設メンバーとして活動に参加。以降、ダムタイプのパフォーマンスやインスタレーションの創作に携わり、映像、照明、グラフィック・デザイン、舞台装置デザインなどを手がける。

個人的な活動としては、90年建築家ダニエル・リベスキンド総合監修によるオランダのフローニンゲン市の都市プロジェクト「STADSMARKERING — GRONINGEN / MARKING THE CITY BOUNDARIES」に浅田彰との共同作業で参加。98年アール・ゾイドとリール国立管弦楽団(フランス)のコラボレーションコンサート「DANGEROUS VISIONS」映像制作。99年坂本龍一オペラ『LIFE』の映像を担当。

ソロワークとして映像インスタレーション『frost frames』を98年に、『optical flat』(国立国際美術館蔵)を2000年に発表している。01年霧の彫刻家・中谷芙二子とのコラボレーションによるインスタレーション作品『IRIS』をバレンシア・ビエンナーレ(スペイン)にて発表。02年度京都市芸術新人賞受賞。

05年ラトビア国立自然史博物館で開催された「雪と氷との対話」展に参加。06年日豪交流プロジェクトでオーストラリアに滞在し、『Chrono』を制作・発表。07年坂本龍一とのコラボレーションによるインスタレーション『LIFE — fluid, invisible, inaudible...』(山口情報芸術センター)制作・発表。同年、気候変動について考えるための北極圏遠征プロジェクト Cape Farewell (イギリス)に日本人アーティストとして初めて参加。08年今回上演されるパフォーマンス『Die Helle Kammer (明るい部屋)』をTheater der Welt, Halle 2008 (ドイツ)にて制作・発表。

近年では10年中谷芙二子との共同制作インスタレーション『CLOUD FOREST』(山口情報芸術センター)制作・発表。11年『マラルメ・プロジェクトII』(渡邊守章演出・京都芸術劇場)の映像・美術を担当している。



金森 穰

Kanamori Jo

演出振付家、舞踊家。

りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館・舞踊部門芸術監督／専属舞踊団 Noism 芸術監督。
ルードラ・ベジャール・ローザンヌにて、モーリス・ベジャールらに師事。ネザーランド・ダンス・シアターII、フランス国立リヨン・オペラ座バレエ団、スウェーデン国立ヨーテボリ・バレエ団を経て、2002年帰国。03年初のセルフプロデュース公演「no-mad-ic project」に対して、第3回朝日舞台芸術賞「舞台芸術賞」「キリンダンスサポート」をダブル受賞。04年4月、新潟りゅーとびあ舞踊部門芸術監督に就任し、劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。自らの豊富な海外経験を活かし、革新的なクリエイティビティに満ちたカンパニー活動を次々に打ち出し、そのハイクオリティな企画力に対する評価も高い。第37回舞踊批評家協会賞、松山バレエ団芸術奨励賞、第58回芸術選奨文部科学大臣賞、第61回新潟日報文化賞他、受賞歴多数。新国立劇場バレエ団には、これまでに『悲歌のシンフォニー〜第3楽章』（2000年）、『String(s) piece』（2003年）を振り付けし、09年には新国立劇場ダンス公演で『ZONE〜陽炎 稲妻 水の月』を新潟りゅーとびあ、そして新国立劇場との共同制作で発表。11年には世界的指揮者小沢征爾が芸術監督を務めるサイトウ・キネン・フェスティバル松本にて、バルトークの『中国の不思議な役人』、並びに初のオペラ演出となる『青ひげ公の城』を演出振り付けし、話題を呼んだ。
<http://www.jokanamori.com>



Photo by 篠山紀信



Photo by NOMO

中村 恩恵

Nakamura Megumi

1987年第1回アジアパシフィックバレエコンクール・IBM 賞、88年ローザンヌ国際バレエコンクール・プロフェッショナル賞受賞。フランス・ユースバレエ、アヴィニオンオペラ座、モンテカルロバレエ団を経て、91〜99年ネザーランドダンスシアターに所属。

退団後はオランダを拠点に活動。2000年自作自演ソロ『Dream Window』にて、オランダGolden Theater Prize 受賞。01年彩の国さいたま芸術劇場にて、キリアン振付フルイブニングソロ『ブラックバード』上演、ニムラ舞踊賞受賞。05年『A play of a play』発表、ソロ作品『One 6』をオランダにて上演。07年に日本へ活動の拠点を移し、Dance Sanga 設立。振付家／ダンサーとしての活動を両立し、これまでに Noism07『Waltz』（舞踊批評家協会新人賞受賞）、NBAバレエ団『露とくどく』、野間バレエ『Room』・『シンデレラ』（全幕）、ダンストリエンナーレTOKYO 2009にてソロ『ROSE WINDOW』を上演する。最近では『The Well-Tempered』『時の庭』等、首藤康之との創作活動を積極的におこなっており、11年新国立劇場で首藤とともにシェイクスピアのソネット集を舞踊作品化した新作『Shakespeare THE SONNETS』を発表した。自身の舞踊活動に加え、キリアン作品のコーチとしてパリオペラ座、ミラノスカラ座をはじめ世界各地のバレエ団や学校の指導にあたる。11年に第61回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

平山 素子

Hirayama Motoko

静謐さと昂揚を自在に奏でるダンサーとして観客の熱い支持を集め、近年は振付家としての評価も高い。2006年ポリショイ劇場バレエ団にて『Revelation』をS・ザハロフに提供、07年新国立劇場公演『Life Casting 一型取られる生命―』で朝日舞台芸術賞、08年『春の祭典』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞。『春の祭典』は10年12月の新国立劇場ダンス公演「ストラヴィンスキー・イブニング」で『兵士の物語』と共に再上演し、さらに注目を集め、高い評価を得ている。昨年12月には東日本大震災へのチャリティー公演のためルーマニアに招聘され、M・ラズバンと『REQUIEM』を発表した。ソロ活動としても国内外のアートフェスティバルで作品を発表すると共に、無重力空間でのダンス実験にも参加するなど、洗練されつつ開拓心を失わないアーティストとして日本のダンスシーンをリードする存在である。また、シンクロナイズドスイミングやフィギュアスケートの日本代表選手の指導にも携わるなど、その活動は多岐にわたる。筑波大学体育系准教授。
<http://www.motokohirayama.com/>



Photo by 白鳥真太郎

BALLET

公演一覧

開場記念公演～2011/2012シーズン

★＝新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・演出等	音楽	公演初日
開場記念公演	眠れる森の美女 ★	M. プティパ	K. セルゲーエフ O. ヴィノグラードフ	P. チャイコフスキー	97.10/24
	くるみ割り人形 ★	M. プティパ/L. イワーノフ	V. ワイノーネン G. コームレフ	P. チャイコフスキー	97.12/18
	梵鐘の聲 ～平家物語より ★	石井 潤	石井 潤	石井真木	98.2/1
1998/ 1999	白鳥の湖 ★	M. プティパ/L. イワーノフ	K. セルゲーエフ N. ドウジンスカヤ	P. チャイコフスキー	98.5/26
	ジゼル ★	J. コラリ/J. ペロー/M. プティパ	K. セルゲーエフ N. ドウジンスカヤ	A. アダン	98.10/28
	くるみ割り人形	M. プティパ/L. イワーノフ	V. ワイノーネン	P. チャイコフスキー	98.12/9
	ドン・キホーテ ★	M. プティパ/A. ゴルスキー	A. ファジェーチェフ	L. ミンクス	99.3/18
	トリプル・ビル				99.6/25
	レ・シルフィード ★	M. フォーキン	M. パーク	F. ショパン	
	踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ ★ ペトルーシュカ ★	佐多達枝 M. フォーキン		W.A. モーツァルト I. ストラヴィンスキー	
1999/ 2000	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	K. セルゲーエフ	P. チャイコフスキー	99.10/7
	シンデレラ ★	F. アシュトン	W.E. サムス	S. プロコフィエフ	99.12/4
	トリプル・ビル				00.2/4
	ラ・バヤデールより“影の王国” ★	M. プティパ	牧 阿佐美	L. ミンクス	
	テーマとヴァリエーション ★	G. バランシン	P. ニアリー	P. チャイコフスキー	
	ペトルーシュカ	M. フォーキン	J. オウドウ	I. ストラヴィンスキー	
	ドン・キホーテ	M. プティパ/A. ゴルスキー	A. ファジェーチェフ	L. ミンクス	00.3/25
	J・バレエ～ダンス・クレアシオン～				00.5/19
	悲歌のシンフォニー～第3楽章 ★	金森 稔		H. グレツキ	
	十二夜 ★	石井 潤		G. マイネリオ ほか	
	舞姫 ★	望月則彦		A. シュニトケ ほか	
	ラ・シルフィード ★	A. ブルノンヴィル	P. ニアリー／大原永子	H. ルーヴェンシュキョル	00.6/29
2000/ 2001	テーマとヴァリエーション	G. バランシン	P. ニアリー	P. チャイコフスキー	
	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	K. セルゲーエフ	P. チャイコフスキー	00.9/5
	ラ・バヤデール ★	M. プティパ	牧 阿佐美	L. ミンクス	00.11/17
	くるみ割り人形	M. プティパ/L. イワーノフ	V. ワイノーネン	P. チャイコフスキー	00.12/22
	シンデレラ	F. アシュトン	W.E. サムス	S. プロコフィエフ	01.2/23
	眠れる森の美女	M. プティパ	K. セルゲーエフ O. ヴィノグラードフ	P. チャイコフスキー	01.4/26
	トリプル・ビル				01.6/22
	テーマとヴァリエーション リラの園 ★	G. バランシン A. チューダー	P. ニアリー D. マーラー	P. チャイコフスキー E. ショーソン	
	ライモンダ第3幕 ★	M. プティパ	牧 阿佐美	A. グラズノフ	
2001/ 2002	ロメオとジュリエット ★	K. マクミラン	J. リンコン	S. プロコフィエフ	01.10/12
	シンデレラ	F. アシュトン		S. プロコフィエフ	01.12/21
	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	K. セルゲーエフ	P. チャイコフスキー	02.2/4
	ミックス・プログラム				02.3/16
	レ・シルフィード	M. フォーキン	M. パーク	F. ショパン	
	四つの最後の歌 ★	R.v. ダンツイヒ	R.V. ダンツイヒ	R. シュトラウス	
	ドゥエンデ ★	N. ドゥアト	T. ファーブル/K. マッカーシー	C. ドビュッシー	
	シンフォニー・イン・C ★	G. バランシン	P. ニアリー	G. ビゼー	
	リラの園	A. チューダー	D. マーラー	E. ショーソン	
	ドン・キホーテ	M. プティパ/A. ゴルスキー	A. ファジェーチェフ	L. ミンクス	02.5/17
	ジゼル	J. コラリ/J. ペロー/M. プティパ	K. セルゲーエフ	A. アダン	02.6/25

シーズン	公演	振付	改訂振付・演出等	音楽	公演初日
2002/ 2003	こうもり★	R. プティ		J. シュトラウスⅡ世 (編曲 D. ガムレイ)	02.9/22
	J・バレエ～ダンス・クレアション～				02.11/15
	String (s) piece★	金森 穰		池田亮司	
	Nothing is Distinct★	中島伸欣		管谷昌弘	
	FEELING IS EVERYWHERE★	島崎 徹		J.S. バッハ ほか	
	くるみ割り人形	M. プティパ/L. イワーノフ	V. ワイノーネン	P. チャイコフスキー	02.12/21
	ラ・バヤデール	M. プティパ	牧 阿佐美	L. ミンクス	03.2/21
	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	K. セルゲーエフ	P. チャイコフスキー	03.5/16
	ラ・シルフィード	A. ブルノンヴィル	S. エルグランド/大原永子	H. ルーヴェンシュキョル	03.6/27
2003/ 2004	パキータ★	M. プティパ	M. ヴァジーエフ/L. クナコーワ	L. ミンクス	
	THE CHIC				03.10/3
	シンフォニー・イン・C	G. バランシン		G. ビゼー	
	ジゼル/こうもり/ラ・バヤデール/ロメオとジュリエットよりパ・ド・ドウ				
	ジャルディ・タンカート★	N. ドゥアト		M.D.M. ボネ	
	マノン★	K. マクミラン	M. パーカー/P. ルアンヌ	J. マスネ (編曲 L. ルーカス)	03.10/29
	シンデレラ	F. アシュトン		S. プロコフィエフ	03.12/12
	こうもり	R. プティ	J.P. アルノー	J. シュトラウスⅡ世 (編曲 D. ガムレイ)	03.12/21
	ロメオとジュリエット	K. マクミラン	J. リンコン	S. プロコフィエフ	04.4/16
2004/ 2005	眠れる森の美女	M. プティパ	K. セルゲーエフ O. ヴィノグラードフ	P. チャイコフスキー	04.6/4
	ライモンダ★	M. プティパ	牧 阿佐美	A. グラズノフ	04.10/15
	くるみ割り人形	M. プティパ/L. イワーノフ	V. ワイノーネン	P. チャイコフスキー	04.12/17
	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	K. セルゲーエフ	P. チャイコフスキー	05.1/7
	エメラルド・プロジェクトNo.1 カルメン★	石井 潤		G. ビゼー (編曲 R. パーカー)	05.3/25
	眠れる森の美女	M. プティパ	K. セルゲーエフ O. ヴィノグラードフ	P. チャイコフスキー	05.4/29
	ドン・キホーテ	M. プティパ/A. ゴルスキー	A. ファジーチェフ	L. ミンクス	05.6/25
	カルミナ・ブラーナ	D. ピントレー		C. オルフ	05.10/29
	ライモンダ ～第1幕より夢の場	M. プティパ	牧 阿佐美	A. グラズノフ	
2005/ 2006	くるみ割り人形	M. プティパ/L. イワーノフ	V. ワイノーネン	P. チャイコフスキー	05.12/16
	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	K. セルゲーエフ	P. チャイコフスキー	06.1/7
	ナチョ・ドゥアトの世界				06.3/23
	ドゥエンデ	N. ドゥアト	K. マッカーシー	C. ドビュッシー	
	ジャルディ・タンカート			M.D.M. ボネ	
	ボル・ヴォス・ムエロ★			15～16世紀スペインの古楽	
	こうもり	R. プティ	L. ボニーノ	J. シュトラウスⅡ世 (編曲 D. ガムレイ)	06.5/19
	ジゼル	J. コラリ/J. ペロー/M. プティパ	K. セルゲーエフ	A. アダン	06.6/24
	ライモンダ	M. プティパ	牧 阿佐美	A. グラズノフ	06.10/5
2006/ 2007	白鳥の湖★	M. プティパ/L. イワーノフ	牧 阿佐美 (K. セルゲーエフ版による)	P. チャイコフスキー	06.11/12
	シンデレラ	F. アシュトン	W.E. サムス	S. プロコフィエフ	06.12/15
	眠れる森の美女	M. プティパ	K. セルゲーエフ O. ヴィノグラードフ	P. チャイコフスキー	07.2/1
	エメラルド・プロジェクトNo.2 オルフェオとエウリディーチェ★	D. ウォルシュ		C. W. グルック (編曲 D. ガルフォース)	07.3/21
	コッペリア★	R. プティ	L. ボニーノ	L. ドリーブ	07.5/13
	ドン・キホーテ	M. プティパ/A. ゴルスキー	A. ファジーチェフ	L. ミンクス	07.6/28

シーズン	公演	振付	改訂振付・演出等	音楽	公演初日
2007/ 2008	オペラ・バレエ ガラ公演				07.10/1
	セレナーデ★	G. バランシン		P. チャイコフスキー	
	牧 阿佐美の椿姫★	牧 阿佐美		E. ベルリオーズ	07.11/4
	くるみ割り人形	M. プティパ/L. イワーノフ	V. ワイノーネン	P. チャイコフスキー	07.12/19
	ニューイヤール オペラパレスガラ				08.1/5
	アンド・ワルツ★	牧 阿佐美		M. ラヴェル	
	「こうもり」から“グラン・カフェ”	R. プティ		J. シュトラウスⅡ世	
	カルメン	石井 潤		G. ビゼー（編曲 R. バーカー）	08.3/27
2008/ 2009	ラ・バヤデル	M. プティパ	牧 阿佐美	L. ミンクス	08.5/18
	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	08.6/24
	アラジン★	D. ビントレー		C. デイヴィス	08.11/15
	シンデレラ	F. アシュトン		S. プロコフィエフ	08.12/20
	ライモンダ	M. プティパ	牧 阿佐美	A. グラスノフ	09.2/10
	Ballet the Chic ーバランシン/サーブ/ドゥアトー				09.3/26
	セレナーデ	G. バランシン			
	ボル・ヴォス・ムエロ	N. ドゥアト	K. マッカーシー		
	ブッシュ・カムズ・トゥ・ショヴ★	T. サーブ	E. クドー		
	空間の鳥★	井口裕之			
2009/ 2010	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	09.5/19
	コッペリア	R. プティ	L. ボニーノ	L. ドリーブ	09.6/26
	ドン・キホーテ	M. プティパ/A. ゴルスキー	A. ファジェーチェフ	L. ミンクス	09.10/12
	くるみ割り人形★	M. プティパ/L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	09.12/20
	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	10.1/17
	アンナ・カレーニナ★	B. エイフマン		P. チャイコフスキー等	10.3/21
	カルミナ・ブラーナ	D. ビントレー		C. オルフ	10.5/1
	ガラントウリーズ★	D. ビントレー		W.A. モーツァルト	
2010/ 2011	椿姫	牧 阿佐美		H. ベルリオーズ	10.6/29
	ビントレーのペンギン・カフェ				10.10/27
	ペンギン・カフェ★	D. ビントレー		S. ジェフェス	
	シンフォニー・イン・C	G. バランシン	C. ニアリー	G. ビゼー	
	火の鳥★	M. フォーキン		I. ストラヴィンスキー	
	シンデレラ	F. アシュトン		S. プロコフィエフ	10.11/27
	ラ・バヤデル	M. プティパ	牧 阿佐美	L. ミンクス	11.1/15
	ダイナミック ダンス! (公演中止)				—
	コンチェルト・パロッド★	G. バランシン		J.S. バッハ	
	テイク・ファイヴ★	D. ビントレー		D. ブルーベック/P. デズモンド	
	イン・ジ・アッパー・ルーム★	T. サーブ		P. グラス	
	アラジン	D. ビントレー		C. デイヴィス	11.5/2
2011/ 2012	ロメオとジュリエット	K. マクミラン	D. ケリー	S. プロコフィエフ	11.6/25
	バレエ・オープニング・ガラ				11.10/1
	「アラジン」から “序曲”“砂漠への旅”“財宝の洞窟”	D. ビントレー		C. デイヴィス	
	パ・ド・ドゥ集：眠れる森の美女第3幕より グラン・パ・ド・ドゥ／ロメオとジュリエット バルコニー・シーン／ドン・キホーテ第3幕より シンフォニー・イン・C 第4楽章	G. バランシン		G. ビゼー	
	パゴダの王子★	D. ビントレー		B. プリテン	11.10/30
	くるみ割り人形	L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	11.12/17
	こうもり	R. プティ	L. ボニーノ	J. シュトラウスⅡ世 (編曲 D. ガムレイ)	12.2/4
	アンナ・カレーニナ	B. エイフマン		P. チャイコフスキー(ほか)	12.3/16
	白鳥の湖	M. プティパ/L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	12.5/5
	マノン	K. マクミラン		J. マスネ (編曲 M. イエーツ)	12.6/23

DANCE

公演一覧

開場記念公演～2011/2012シーズン

シーズン	公演	振付・主演・演奏等		公演初日
開場記念公演	パノラマ展 Aプログラム			97.11/21
	ラブソディ リジェネレーション リゴドン ～死の舞踏	石井かほる 能美健志 庄司 裕		
	マスターワークス			97.12/6
	鼻の唄 世界はバッハのように	折田克子 西田 堯		
	パノラマ展 Bプログラム			98.1/7
	春の祭典 カウンターバランス ～現実をみるための空想～ 風市	竹内登志子 米井澄江 藤井 公		
1998/ 1999	ダンスプラネットNo.1 コムヘリタキナ	木佐貫邦子		98.4/24
	ダンスプラネットNo.2 ありす	中村しんじ		98.9/25
	ダンスアトロンNo.1 凡人 対 美黄			98.11/28
	ゆるやかなさかみち 礼儀正しい隠蔽	厚木凡人 若松美黄		
	ダンスアトロンNo.2 FAUST	平林和子		99.2/26
	ダンスプラネットNo.3 エロスの部屋 ～黒い乳母車～	泉 克芳		99.4/23
1999/ 2000	ダンスプラネットNo.4 現実との3分間／非現実との3分間 ～ピアソラへのオマージュ～	能美健志		99.9/24
	ダンスアトロンNo.3 神曲	西田 堯		99.11/27
	ダンスプラネットNo.5 ダンスコンサート 舞姫たちの午後			
	Aプログラム Sequence of tenses 死と乙女 城壁の空高く、のぼる太陽・しずむ月 Hommage 墜ちたる天女	田保和里 軽部裕美 武元賀寿子 菊地純子 本間祥公	振付 二見一幸 振付 能美健志 演奏 斎藤 徹／井野信義 演奏 森田浩平 演奏 杉浦 聡	00.3/10
	Bプログラム ff-fortissimo あいだ カッサンドラダンス あなたの肩に頬寄せて 雲の上に草をうえる人 権兵衛が種をまけば…	内田 香 北井千都代 地主律子 児玉敏子 川野真子 金井美三枝	演奏 馬場高望 振付 中村しんじ 演奏 香川隆樹／持丸 明／原 光弘	00.3/12
	ダンスプラネットNo.6 キングリア	上田 遥	演奏 東儀秀樹／王 霄峰	00.6/9

シーズン	公演	振付・主演・演奏等	公演初日
2000/ 2001	ダンスプラネットNo.7 ピノッキオ	中村しんじ	00.9/22
	ダンステアトロンNo.4 Raj Packet -everything but Ravi	勅使川原三郎 演奏 SAND	00.12/16
	ダンステアトロンNo.5 Close the door,open your mouth HYPER BALLAD	伊藤キム 音楽監督・演奏 伊藤康英 山崎広太	01.3/10
	ダンスプラネットNo.8 エヴァのひみつ	石井かほる	01.6/15
2001/ 2002	ダンスプラネットNo.9 Signs:Landmark	モリサ・フェンレイ ピアノ演奏 高橋アキ	01.9/28
	Metamorphosis	菊地純子	
	ダンステアトロンNo.6 森羅	野坂公夫	01.12/1
	空間の詩学	正田千鶴	
	ダンスプラネットNo.10 伊藤キム作品集 Me and I / Butterfly and Me / あなた	伊藤キム	02.2/15
	ダンステアトロンNo.7 マーサへ ～空のなか 愛がふれあうとき～	アキコ・カンダ	02.6/15
2002/ 2003	ダンスプラネットNo.11 未来の空隙は響き	構成・演出・美術 小池博史	02.9/20
	ダンステアトロンNo.8 Raj Packet II	構成・振付・美術・衣装・照明 勅使川原三郎 演奏 SAND	02.12/14
	ダンスプラネットNo.12 DANCE EXHIBITION 2003		
	Aプログラム DOROBO 泥棒 ―再生の産声― the edge Figninto 穿たれた眼	石川ふくろう 永谷亜紀 カンパニー・サリア・ニ・セイドウ 振付 セイドウ・ボロ	03.3/14
	Bプログラム Against Newton ～ニュートンに逆らって 4×4	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 水と油	03.3/16
	ダンステアトロンNo.9 EXPECT 東京ダンスホール	木佐貫邦子 中村しんじ	03.6/21
	ダンスプラネットNo.13 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後		
	Giselle Espresso 弱法師 ロメオとジュリエットI & II シャコンヌ MAGUMA	軽部裕美 & 島地保武 内田香 & 古賀豊 加賀谷香 & 森山開次 特別出演 津村禮次郎 イ・ユンキョン & リュ・ソクン 平山素子 & 能美健志 蘭このみ & 清水典人	03.9/12
2003/ 2004	ダンステアトロンNo.10 バレエ・ブレルジョカージュ ヘリコプター／春の祭典	アンジュラン・ブレルジョカージュ	03.11/7
	ダンスプラネットNo.14 Against Newton II 騒ぐにはもってこいの日	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 武元賀寿子 演奏 こまっちゃクレズマ／太田恵資	04.2/13
	ダンステアトロンNo.11 Close the door, open your mouth 花の歴史	伊藤キム 音楽監督・演奏 伊藤康英 伊藤キム	04.5/15

シーズン	公演	振付・主演・演奏等	公演初日
2004/ 2005	ダンスプラネットNo.15 DANCE EXHIBITION 2004		
	Aプログラム Divining 月に歌うクジラ 冷めないうちに召し上げ	リー・ウォーレン & ダンサーズ 川野真子 内田 香 Roussewaltz ピアノ演奏 サイモン・テデスキ 総合演出 中村しんじ	04.9/15
	Bプログラム LOTUS —花の咲く時季 OKINA Swerve	浅野つかさ 森山開次 リー・ウォーレン&ダンサーズ 特別出演 津村禮次郎 打楽器演奏 バプロ・パーカッソー	04.9/17
	ダンステアトロンNo.12 KAZAHANA 風花	勅使川原三郎	05.2/4
	ダンスプラネットNo.16 移動の法則	水と油	05.2/18
	ダンスプラネットNo.17 田中 泯 独舞・赤光	田中 泯 演奏 大倉正之助／一噌幸弘	05.6/3
	ダンスプラネットNo.18 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後		
2005/ 2006	ダリのリアリズムの薔薇 あやかし Where is my moon? 光芒 ～長き尾を引き流れ星は～ Butterfly noon afternoon	矢作聡子 & 藤田恭子 & 関根えりか & 山中ひさの 花柳せいら & 伊藤拓次 バク・ユースン & キム・ソンヨン 蘭このみ & 清水典人 平山素子 & 中川 賢 マイケル・シューマツハ & アレッシオ・シルベストリン	05.9/16
	ダンスプラネットNo.19 コラボレートする身体 いぶさ～奇蹟の大地 法悦	森山開次 & 宮崎秀人 能美健志 & 高田みどり 打楽器演奏 高田みどり	05.11/25
	ダンステアトロンNo.13 バレエ・ブレルジョカージュ		
	Aプログラム N	アンジュラン・ブレルジョカージュ	06.1/31
	Bプログラム Les 4 saisons... (四季)	アンジュラン・ブレルジョカージュ	06.2/4
	ダンスプラネットNo.20 きらめく背骨	前田清実 音楽・演奏 金子飛鳥	06.6/16
	ダンスプラネットNo.21 DANCE EXHIBITION 2006		
2006/ 2007	Aプログラム 【c-e】 消失にむかう地点の青 Crush さーかす	佐藤美紀 共同演出 鈴木千穂／平多利江 キム・バンソン 川野真子 演出 中村しんじ	06.9/15
	Bプログラム QWERTY 人形 Chopiniana ケース Butterfly no-side	石山雄三 湊斐美子 中野真紀子 新上裕也 平山素子&中川 賢 ゲー・リャンリャン&高頂	06.9/18
	ダンステアトロンNo.14 ガラスノ牙	勅使川原三郎	06.12/15
	ダンステアトロンNo.15 如風～inside of wind	野坂公夫／武元賀寿子／内田 香 演出・音楽・演奏 大倉正之助 音楽・演奏 ロバート・ミラベル	07.2/10
	ダンスプラネットNo.22 Life Casting —型取られる生命—	平山素子	07.6/1

シーズン	公演	振付・主演・演奏等	公演初日
2007/ 2008	ダンスプラネットNo.23 消息 Substance	勅使川原三郎	07.9/29
	ダンスプラネットNo.24 勅使川原三郎ソロ ミロク	勅使川原三郎	07.12/8
	ダンスプラネットNo.25 ダンス名作展 —10年を振り返って未来への展望—		08.1/18
	Against Newton シャコンヌ Espresso さーかす	岩淵多喜子 平山素子&能美健志 内田 香&古賀 豊 川野真子 ヴァイオリン演奏 末永千湖 演出 中村しんじ	
	ダンスプラネットNo.26 未来へ繋ぐトリプル・ビル		08.2/15
	受胎告知 Butterfly 曲線（カーブ）した声	アンジュラン・ブレルジョカージュ 平山素子&中川 賢 野坂公夫／坂本信子	
	ダンスプラネットNo.27 空気のダンス —デッサンから飛び立った少年少女—	勅使川原三郎	08.4/4
2008/ 2009	ダンスプラネットNo.21 DANCE EXHIBITION 2008 —Dance meets Music—		
	A プログラム Accumulated Layout（蓄積された配置） “形が” “人が” 語り始めると カッコウ	梅田宏明 二見一幸／ダンスカンパニーカレイドスコープ Co. 山田うん ピアノ演奏 クリヤ・マコト	08.9/6
	B プログラム REM —The Black Cat バレードの馬 Flush（ほとはしる）～生き急ぐ時間たち～	川口ゆい 加賀谷香 上島雪夫／UESHIMA theater ヴァイオリン演奏 太田恵資	08.9/13
	ダンステアトロンNo.16 古楽とストラヴィンスキー 木佐貫邦子×平山素子		08.11/15
	キャラバン 春の祭典	木佐貫邦子 平山素子／柳本雅寛 音楽 スカンク ピアノ演奏 土田英介／篠田昌伸	
	ダンスプラネットNo.29 森山開次作品集		09.2/9
	OKINA 弱法師 花想観 狂ひそうろうふ（くるいそうろう）	森山開次／津村禮次郎 森山開次／加賀谷 香／津村禮次郎 森山開次 音楽 種子田郷 音楽 笠松泰洋 フルート演奏 木之脇道元 音楽・パーカッション YAS-KAZ	
	金森 稔 Noism09 ZONE ～陽炎 稲妻 水の月	金森 稔	09.6/17
2009/ 2010	ダンステアトロンNo.17 勅使川原三郎 鏡と音楽	振付・演出・美術・照明・衣裳 勅使川原三郎	09.9/25
	ダンスプラネットNo.31 平山素子 Life Casting —型取られる生命—	構成・振付 平山素子 音楽 落合敏行	09.11/5
	ダンスプラネットNo.32 近藤良平 トリプルビル	演出・振付 近藤良平	10.2/5
	ダンステアトロンNo.18 DANCE to the Future		10.5/29
	Wolfgang for Webb THE LAST ERA OF CINDERELLA Snow Lotus —雪蓮華	振付 ドミニク・ウォルシュ 振付 能美健志 振付 井口裕之 出演 新国立劇場バレエ団	

シーズン	公演	振付・主演・演奏等	公演初日
2010/ 2011	ダンスプラネットNo.33 DANCE PLATFORM 2010		
	Aプログラム 果てに… SINSHOKU Improvisation.705117902 Autumn Hunch	原田みのる 池田美佳 菊地尚子 高瀬譜希子	10.10/22
	Bプログラム FAUNE (2008) レトルトーその中の愛と闘争 belle-île イキキル	大岩淑子 山口華子 松崎えり C/Ompany (大植真太郎・柳本雅寛・平原慎太郎)	10.10/29
	ダンスアトロンNo.19 ストラヴィンスキー・イブニング	音楽 イーゴリ・ストラヴィンスキー	10.12/4
	兵士の物語 春の祭典	演出・振付・美術原案 平山素子 振付・出演 平山素子／柳本雅寛	演奏 崔文洙 (vl.) 松本健司 (cl.) 土田英介 (pf) ピアノ演奏 土田英介／篠田昌伸
	ダンスプラネットNo.34 イデビアン・クルー アレルギー	演出・振付 井手茂太	出演 イデビアン・クルー
	ダンスアトロンNo.20 DANCE to the Future 2011	振付 キミホ・ハルバート 振付 石山雄三 振付 上島雪夫	出演 新国立劇場バレエ団
	Shakespeare THE SONNETS	中村恩恵／首藤康之	音楽 D.P.ハウブリッヒ
2011/ 2012	近松 DANCE 式題		
	Aプログラム 女殺油地獄	鍵田真由美／佐藤浩希 アルテ イソレラ	音楽 J.ガルベス
	Bプログラム エゴイズム	加賀谷香 Dance-SHAN	音楽 笠松泰洋
	カラマーゾフの兄弟	小野寺修二 カンパニー・デラシネラ	
	DANCE to the Future 2012	出演 新国立劇場バレエ団	
	Ag+G Butterfly 兵士の物語	振付 平山素子 振付 平山素子／中川 賢 振付 平山素子	音楽 笠松泰洋、落合敏行 音楽 M.ナイマン、落合敏行 音楽 I.ストラヴィンスキー 演奏 竹中勇人 (vl.) 杉本健司 (cl.) 土田英介 (pf)

Memo
